

「開かれた学校づくり」から発信

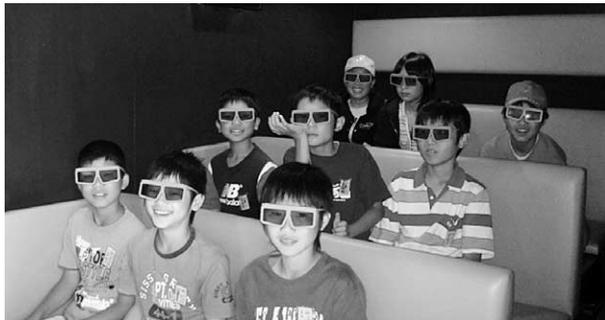
このコーナーでは、各園・学校の取組や様子をお知らせし、地域の学校としての情報発信をしています。地域の皆様には、様々な取組にご理解とご協力をいただいておりますが、今後とも地域ぐるみで子どもの健全育成にかかわってくださいますよう、よろしくお願いします。

伊野小学校

防災教育イベント

5月20日(日)伊野小学校を会場に「いの町子ども防災キャンプ」が開催されました。

伊野小学校では、この機会に全校児童が災害について学習して、いざという時の対応方法を少しでも身につけてもらおうと考えました。体育館では、災害の記録や防災関係のパネル展示を前に、係の方から説明をしてもらいました。



運動場には、起震車や土石流体験装置が設置され、震度7までの揺れや3Dの映像で土石流の恐ろしさを経験しました。

低学年の子どもたちが「座席が揺れて怖かったねえ!」と言いながらブースから出てきました。

また、1時間当たり180mmという豪雨の中で傘を差した子どもたちは、話し声も聞こえないことにびっくりしていました。

その他に、消火器の基本的な使い方を実習するブースや、心肺蘇生・救急訓練のブース、理科室・家庭科室ではサラダオイルなどを使った非常時の「あかり作り」が行われました。

また、幼稚園のプレイルームでは、地震や災害についてのクイズやゲームが行われ、人気のコーナーになっていました。



4・5・6年生は、掃除の縦割り班で協力して、非常炊飯実習を行いました。32の班が鍋やカセットコンロを持ち寄り、3合のお米を炊くことに挑戦しました。保護者や地域の皆さんの協力もあって、全ての班が上手にできました。PTAの皆さんが作ってくれたトン汁をもらって、体育館で和やかにお昼ご飯を食べました。トン汁を3杯もおかわりする子もいました。皆さんご協力ありがとうございました。